

各 位

会 社 名 オカダアイヨン株式会社 代表者名 代表取締役社長 苅田俊幸 (コード番号 6294) 問合せ先 取締役管理本部長 前西信男 (TEL. 06-6576-1281)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。尚、連結業績予想に関しましては当初計画通り推移しており見直しは行なっておりません。

記

1. 平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想(A) (平成27年5月15日発表)	5, 360	410	250	36. 21
今 回 修 正 予 想(B)	5, 280	300	190	27. 52
増 減 額(B-A)	△80	△110	△60	_
增 減 率(%)	△1.5%	△26. 8%	△24. 0%	_
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	5, 219	413	256	37. 22

2. 平成28年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想(A) (平成27年5月15日発表)	11,060	660	420	60. 84
今 回 修 正 予 想(B)	11,060	540	360	52. 15
増 減 額(B-A)	-	△120	△60	_
增 減 率 (%)	_	△18. 2%	△14. 3%	_
(ご参考) 前期実績(平成27年3月期)	11, 026	660	385	55. 86

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間の個別売上高につきましては、国内市場で引続き東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備や耐震建替需要が底堅い一方、中国ショックの様子見感もあり、当初計画対比80百万円減少の52億80百万円となりました(前年同期対比では61百万円の増加)。一方、利益面では、首都圏強化策の先行投資として開設した3拠点(横浜営業所、東京オフィス、東京メンテナンスセンター)の出店経費、人件費等の増加により販管費が前年比50百万円増加したことに加えて、円安による製造原価率の上昇等により売上総利益率が当初計画対比約2.0%低下したことを要因として、経常利益は当初計画対比1億10百万円減少の3億円、四半期純利益は同60百万円減少の1億90百万円となりました。

通期予想に関しましては、ほぼ現状の環境が続くことを前提に、売上高は当初計画どおりの見込みながら、経常利益は当初計画対比1億20百万円減少の5億40百万円、当期純利益は同60百万円減少の3億60百万円と利益面は当初計画を下回る見込みとなりました。

尚、連結子会社の米国現地法人の業績が、円安影響もあり売上、利益ともに当初計画を大幅に上回って おり連結業績予想に関しては当初の計画通りといたします。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて おり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上